としょかんくん 126

4月号

中央図書館の一日

中央図書館の一日ってどんなふうなの？って思ったことはないですか？
今回は、ふだんは見られない図書館のうらがわをとくべつにお見せします！

スタート！

8：30　ミーティング

今日の行事やれんらくを、みんなでかくにんします。最後はみんなであいさつの練習です。

一日の予定をかくにんしているよ！

8：45　開館じゅんび

返却ポストに返ってきた本を、たなにもどします。返却ポストは図書館が開いている間は使えません。

ほかには…

- インターネットや、ほかの地域図書館からお願いされた予約本を用意します。
- 昨日の新聞を今日の新聞と入れかえをします。

9：30　開館

カウンターの中では、係に分かれて本の返却や貸出、みなさんからのしつもん（レファレンス）の受付などをします。

こういう本がありますよ！

ほかには…

- ２階では新しくとどいた本を、たなにならべるじゅんびをしています。
- 移動図書館の「米百俵号」が出発したり、出張おはなし会に出かけたりすることもあります。

たなにならべるじゅんび中！

おつかれさまでした！

ゴール！

電気がついていないかな？

19：00　閉館

お客さんがだれも残っていないか、かくにんをします。返却ポストの入り口を開けて、全部のパソコン・電気を消しておしまいです。

ほかには…

・本が順番にならんでいるか、たなの整理をします。
・新しくとどいたざっしを、古いものと入れかえをします。

16：00　おはなし会

おはなしの部屋で絵本や紙しばいの読み聞かせ、工作などをやっています。みんな、遊びに来てね！
（曜日によって内容や時間がちがいます）

ほかには…

・図書館に入れたい本を、みんなでえらびます。
・本を直したり、資料やかざりを作ったりします。

すごい数の本だね！

13：00　連絡便の到着

市内の地域図書館に返された中央図書館の本が、たくさんはこばれてきます。みんなで手分けをして、たなにもどします。

おいしそう★

昼休み

『糸に染まる季節』

大西暢夫／写真・文
岩崎書店（郷土753オ）

わたしたちの住む地域は雪がふり、冬が長いです。昔からそんな風土をいかしたおりものがさかえた地域です。この本は十日町市で、おりものの糸に色をそめる仕事をしている岩田重信さんをしょうかいしています。「十日町の色を出したいから、十日町で育った植物でそめたい」ヨモギ、クルミ、スギ…。その時のきせつの植物を使ってまっ白な糸をそめていきます。そんな岩田さんの一年をしょうかいしています。

『ジュニア版　里見八犬伝１』

滝沢馬琴／原作
生越嘉治／文
西村達馬／絵
あすなろ書房（913タ）

このお話は、江戸時代の終わり（150年くらい前）に大ベストセラーになりました。昔、「伏ひめ」というおひめさまと、伏ひめがかわいがっていた人の心を持つ犬「八房」の悲しい死からお話は始まります。ひめの死からおまもりの八つの玉をひきつぐ八犬士が誕生し、さまざまなたたかい、前世の霊、ふしぎな力を持つ動物などがくりひろげる物語です。「正義は勝つ」という作者の思いとともに、170年たった今でも楽しめるファンタジーです。

『おはなしのたからばこ17　上方落語　犬の目』

桂米平／文
いとうひろし／絵
フェリシモ（913カ）

落語は、江戸時代中ごろ（300年くらい前）に始まり、町の人の生活や、おとぎ話などをおもしろく語るもので、最後におちがつくのがとくちょうです。東京（江戸）落語と大阪・京都の上方落語があります。目がいたくなった男が目医者さんに行くと、「くさりかけとるぞ」と言われてびっくり。そして目をとってあらわれてしまいます。目はいったいどうなるでしょうか。

日本で生まれた日本ならではの文化を知っていますか？
日本には古くからつたわるすばらしい文化がたくさんあります。
今回はそんな日本で生まれて、これからもつたえていきたいお話や文化をしょうかいします。

ほかにもあるよ

『江戸のなぞ絵　１』 岩崎均史／著　汐文社（721イ）
『少年柔道』 鮫島元成／監修　いとうみき／絵　アリス館（789シ）
『家をつくる職人さん　大工・庭師』（日本の職人さん９）　灰崎武浩／文　割田富士男／写真　ポプラ社（520ニなど）
『中部の伝統工業』（調べよう・日本の伝統工業４）　北俊夫／監修　国土社（750シ）
『はなび』 秋山とも子／作　教育画劇（郷土絵本アなど）
『箸の絵本』 兵左衛門／へん　つちはしとしこ／え　農山漁村文化協会（383ハなど）
『和菓子のほん』 中山圭子／文　阿部真由美／絵　福音館書店（596ナなど）
『なるほど忍者大図鑑』 ヒサクニヒコ／絵・文　国土社（789ヒ）

※（　）の中の数字やカタカナは、図書館での本の場所をあらわしています。

『うごく浮世絵!?』

よぐちたかお／作
アーサー・ビナード／英文
福音館書店（720ビなど）

浮世絵は、江戸時代のはじめ（450年くらい前）に、浮世（世の中の様子）を当時の人気役者やけしきをえがいたはん画のことです。この本はそんな有名な浮世絵をしょうかいしてあるだけでなく、命をふきこむマジックフィルム付きです。絵にのせて動かすと、あら不思議。目玉がギョロギョロ、雨はザーザー。浮世絵をただながめるだけでなく、遊びながら楽しめる本です。

『絵で見るおふろの歴史』

菊地ひと美／文・絵
講談社（383キなど）

みなさんはおふろに入るのはすきですか？わたしたちが当たり前のように入っているおふろにも、長いれきしがあります。今のようにおふろにお湯を入れてつかるのは、江戸時代中ごろ（300年くらい前）からだそうです。それまではどんなおふろだったのでしょうか？この本はおふろのれきしを、時代ごとにイラスト付きでわかりやすく説明してくれます。その時代の生活の様子もわかるおもしろい本です。

『子どもと楽しむ行事とあそびのえほん』

すとうあさえ／文
さいとうしのぶ／絵
のら書店（386ス）

わたしたちの住む日本は、春夏秋冬がはっきりしています。お花見、七夕、お月見、節分などきせつの行事や遊びを楽しんできました。これらの行事には、私たちのおじいちゃん、おばあちゃん、そのまたおじいちゃん、おばあちゃんと代々受けつがれてきた自然といっしょに生きる感謝の気持ちとねがいがこめられています。今は少しずつわすれられている行事や遊びをぜひためしてみてください。

ながおかむかしむかし

長岡生まれの
東京大学の先生
のお話です。

この写真のおじいさんが左手にかかえているものを、よく見てください。何かわかりますか？そうです、人間の頭の骨ですね。

おじいさんの名前は小金井良精。江戸時代の終わりころに長岡で生まれました。明治時代が始まると、東京の大学に入学して医学の勉強をします。そして、もっと勉強するためにドイツへ留学（外国で勉強すること）します。ドイツから帰ると大学の先生となり、日本人で初めて解剖学の授業を始めました。

もう一度写真を見てみましょう。小金井先生は右手にも何か持っていますね。

これは、骨を調べる道具で「ノギス」といいます。小金井先生は、東京大学医学部解剖学教室で、たくさんの骨の形や重さなどを調べたり、くらべたりする研究を続けました。その業績（研究のすばらしさ）をたたえて、上の写真の胸像が作られ、今も大学にかざられています。

『ふるさと長岡の人びと』（郷土281フなど）の中には、小金井先生についてくわしく書かれています。興味のある人は、ぜひ図書館でさがして読んでみてください。

（文書資料室　桜井奈穂子）

流れ星BOOKストア

ちょっと背のびしたいBOYS ＆ GIRLSのみなさん！
YAコーナーから、きまぐれ本屋がやってきました。
さて、今回はどんなお話でしょうか？

『アナザー修学旅行』　有沢佳映／作　講談社　（ヤングアダルトコーナー913ア）

学校生活でのイベントの１つに【修学旅行】があります。

――きっと楽しいことが待っている――この物語は、そんな修学旅行に参加できなかった７人のお話です。

修学旅行へ行けないのはやはりショックが大きいものです。しかし、不参加の人は修学旅行の間も、いつものように登校し、教室へ行かなければいけません。

ただいつもとちがうのは、１つの教室で他のクラスの参加できなかった人たちと一緒にすごすこと。最初は不安いっぱいだったけれど、いつもとちがう不思議な教室がそこにはあったのです。心にのこる、かがやく３日間がこの本の中にあります。

（竹野温子）

※（　）の中の数字やカタカナは、図書館での本の場所をあらわしています。

★ヤングアダルト（ＹＡ）コーナーとは…中学生・高校生などティーンズ向けの本を集めたコーナーです。としょかんくんを読んでくれるみなさんも、このコーナーをのぞくと、新しい発見があるはず。本の背表紙の黄色い半月シールが目じるし。さがしてみてね！

としょかんくん126号イラスト大賞

としょかんくん125号読者アンケートの中から
みなさんのかいてくれたイラストをしょうかいします！

日吉小　M・Yさん

日吉小　A・Yさん

東谷小　ペンネーム：まっちゃんさん

たくさんのイラストをありがとう！
みなさんもイラスト大賞に参加してね

☆教えて！図書館のこと☆

125号の読者アンケートに書いてもらった、図書館についてのみなさんからのしつもんにお答えします！
こんなしつもんがとどきましたよ。

Q：教えて！図書館にあるパソコンは、どうしてあるんですか？　（四郎丸小　ペンネーム：Kさん）

A：図書館にはたくさんの本があるので、本のおいてある場所などが調べられるように、パソコンがおいてあるよ。ぜひ、パソコンで本のこと調べてみてね。

図書館について知りたいことがあったら、なんでも読者アンケートに書いてね。
しつもんお待ちしてまーす（^.^）！

★みんなの声★

としょかんくん125号読者アンケートの中から、みなさんの声をしょうかいします。

★としょかんくん125号の感想をひとこと！★

♪「図書館員のすきな本」の『あいうえおの本』がおもしろそうでした。今度図書館へ行ったら、かりて読んでみたいです。
（和島小　ペンネーム：ジュースさん）

♪わたしが読んだことのない本がたくさん「おはなしで世界をたびしよう」に書いてあっておもしろかったです。
（東谷小　ペンネーム：みーさん）

♪いろいろな本のあらすじなどが書いてあってとっても分かりやすかったです。また読みたいです。
（日吉小　ペンネーム：マリアさん）

★あなたのすきな本、おもしろかった本を教えてね！★

『ねずみくんのチョッキ』なかえよしを／作　上野紀子／絵　ポプラ社（絵本ウ）
♪服がどんどん大きくなっていくのがおもしろいと思いました。
（関原小　S・Iさん）

『エルマーのぼうけん』ルース・スタイルス・ガネット／作　ルース・クリスマン・ガネット／絵
わたなべしげお／訳　福音館書店（933ガ）
♪エルマー・エレベーターがぼうけんしてボリスというりゅうをたすけだしたところがおもしろかったです。
（四郎丸小　I・Hさん）

※（　）の中の数字やカタカナは、図書館での本の場所をあらわしています。

行事のおしらせ

★☆子ども一日図書館員☆★

中央図書館　4月23日(土)・24日(日) 午後1時30分～4時30分
互尊文庫・西・南・北・中之島・寺泊・栃尾地域図書館　5月8日（日）午後2時～4時
※対象：市内の小学校5・6年生
※申し込み：申し込み用紙に必要事項を記入し、希望する図書館へ持参、または郵送で申し込んでください。定員になりしだい、しめきりとなります。

中央図書館　**♪一日中おたのしみ会♪**　中央図書館　おはなしのへや
4月29日(祝・金) 午前10時～午後5時

北地域図書館　**♪みにみに上映会♪**　北地域図書館　多目的ルーム
4月17日(日) 午後2時～3時

中之島地域図書館　**♪おはなしひろば♪**　中之島文化センター2階　和室
4月24日(日) 午前10時30分～11時30分

寺泊地域図書館　**♪こいのぼりを作ろう♪**　寺泊センター3階　大研修室
4月29日(祝・金) 午前10時～11時30分

栃尾地域図書館　**♪おたのしみ「ぷち」上映会♪**　栃尾文化センター2階　和室
4月9日(土) 午前10時30分～11時30分

平成23年4月1日　発行　　編集・発行：長岡市立中央図書館
住所：長岡市学校町1丁目2番2号　　電話：0258（32）0658
ホームページ：http://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp　メールアドレス：lib@city.nagaoka.niigata.jp
編集委員：関矢麻由美　長瀬貴子　古田島亜衣　大塚望美　中川寛子　矢野直美　宮谷潔子
表紙イラスト：峠 夏美　印刷：北越印刷㈱